

スカウト おおいた

第54号

2019年 6月16日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会

「活動的で自立したスカウトを育てよう！」

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟
コミッショナー 真田康広

三指。日頃よりボーイスカウト大分県連盟の活動に対しましてご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

日本連盟が2022年に創立100周年を迎えるにあたり長中期計画を策定して4年目を迎えます。本年度も事業スローガン「活動的で自立したスカウトを育てよう!」、とりわけ大分県連盟としては『災害にもそなえるスカウト』を目指したいと存じます。

重点施策は前年に引き続き次のとおりです。

- 1) 社会から評価されるスカウトの育成
- 2) 隊・団指導者の充実
- 3) 会員の確保
- 4) 新ユニフォームへの円滑な移行
- 5) セーフ・フロム・ハーム等スカウト運動の社会的信頼の向上

昨年は第17回日本スカウトジャンボリー（於：石川県珠洲市）へ派遣隊スカウト、指導者42名、派遣団長・大会運営スタッフ10名の総勢52名を派遣することができました。県連盟実行委員会を中心とした派遣団の参加支援を充実し事前訓練・大会に臨めたこと、大会ではサブキャンプ安全・救護班ほか大会運営に参画した実績が次のステップに繋がると評価します。大会中、ジャンボリーゲーム日本一：キャンピング（火起こし）で全国第2位、結索（班旗立て）で同5位（いずれもボーイ6人班の部）の栄誉を獲得することができました。準備訓練の成果が顕れ「そなえよつねに」を強く心に刻むことが

できたものと思われま。県連盟行事として28年度からボーイ部門で実施している技能オリンピックと関連することから、日頃からの意識の醸成とスカウト技能向上への支援をお願いします。

今年は大分県連盟の創立から70周年を迎えます。8月には記念行事として、青少年の可能性を伸ばすとともに、指導者のさらなる資質向上を目指し、多くのスカウト達を育てて来たくじゅう沢水にて『大分県連盟70周年記念野営大会』を開催します。令和3(2021)年の九州・沖縄野営大会、翌年の第18回日本スカウトジャンボリーへのステップとして、県連盟のこれからの進展に向けて加盟員全員で大会をつくりあげてまいります。各団・隊指導者におかれては、テーマ「笑顔あふれる70周年 そして未来へ!!」に則り満身のご支援をお願いする次第です。大会マークを眺めていると、爽やかな風が吹いている、くじゅうの斜面に生える野営サイトに、これまでの歴史と未来へつなぐ思いが詰まった気球が浮かんでいる様子が浮かびます。この光景をぜひ全員で共有したいと存じます。

今年度も把手共行しボーイスカウト運動の推進に取り組んで行きましょう!

弥栄



県連盟 今後の予定

- | | |
|---------|--|
| 8月8～12日 | 70周年記念野営大会 竹田市久住町 沢水キャンプ場 |
| 10月27日 | ウッドバッジ研修所課程別研修ボーイスカウト課程
大分県森林作りボランティア支援センター |
| 11月10日 | 第27回ボーイスカウト講習会 大分市 |
| 11月～2月 | 定型外訓練（テント設営、工作、野外調理） |

パイオニアリング



実施日：3月17日

場 所：大分市 大分懸護國神社

ベンチャースカウトが大型構造物作製の企画・実施計画を行い、当日はリーダー・スカウト29名が参加して丸太とロープで信号塔を作製し技能修得ができた。

開会式の後、早速模型を使い建立の説明を受け、材料を集めて組み立て開始。





パイオニアリング感想

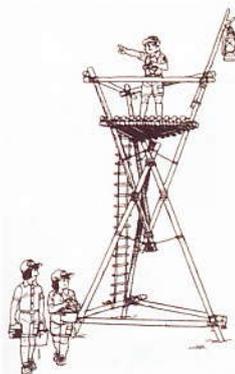
別府9回ベンチャー隊 徳永匠飛

3月17日、大分県護国神社で行われたパイオニアリング大会に初めて参加しました。

到着してからの受付を済ませてから開会式に始まり、注意事項の説明を受けた後、大分第2回の芳山さん指導のもと、皆で協力しながら作業を進めることができました。途中、設計図と模型とを確認をしながら慎重に組み立てて行きました。

昼食を挟み午後に完成、皆で手綱を引ながら信号塔を立ち上げる時には感動しました。

今回は多くのベンチャーと作業ができたので私にとって貴重な経験でした。



「Unlock a New World “新世界の扉を開こう”」

日本ボーイスカウト大分県連盟コミッショナー 真田康広

第24回世界スカウトジャンボリー大会(24WSJ)が、今年7月からアメリカ合衆国東部のウエストバージニア州で開催されます。大会は世界スカウト機構(WOSM)正加盟170の国と地域から約4万人のスカウトが米国連盟サミット・ベクテル・リザーブに集い、7月22日～8月2日(12日間)行われます。

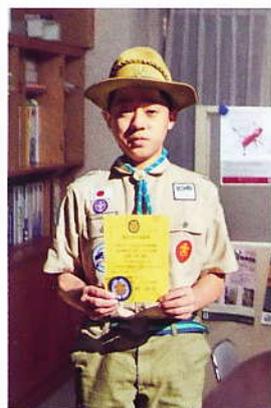
日本派遣団はA～Eの5分団、28の参加隊編成にて、国際サービスチーム員(IST)、派遣団本部を含めて総勢1,226名(予定)が出発直前準備訓練(ISTは7/17～19、参加隊は7/19-21)を経て、国内3空港から出国、渡米します。

大分県連盟からは、E分団第28隊として隊長;真田康広(由布2VM)、副長;古谷惟(津久見1RS)、スカウト;穴井拓文(大分2BS)、山形理徳(大分2VS)、御手洗拓真(大分5VS)、牧優凜(大分9VS)、猪原舞姫(由布2VS)、ISTとして豊東翼(大分2RS)、山形望仁(大分2VS)の9名が参加し、既に準備訓練が3月から始まっています。スカウト全員が海外スカウトらとの国際交流を楽しみに、大会コンセプトの友情(Friendship)、経験(Experience)、アドベンチャー(Adventure)をこの度の派遣で存分に発揮できるように、それぞれが自己の課題に真摯に取り組んでいます。派遣にあたり各団・各位のご支援、温かい送迎をお願い申し上げます、紹介とさせていただきます。



進級章〔菊章〕交付

菊章を取得された方々です。誠におめでとうございます。さらに雫章・富士章を目指してください。



菊スカウト章

3月10日

- 別府第9団 濱田 瑛美子
- 別府第9団 田原 聖太
- 津久見第1団 天畠 響希

5月12日

- 由布第2団 猪原 舞姫
- 大分第2団 橋 未夢
- 大分第2団 豊東 七恵



各団活動

津久見第1団

4月の津久見ビーバー隊恒例行事はつくみん公園の隠れつくみん探しです。

新しい友達も一緒に14体のつくみんを探しました。他の隊の皆さんもつくみん公園に来たときは探してみてください。



またBP祭ではカブ隊がベーデンパウエル、ボーイスカウト活動について、紙芝居を作りました。ビーバー隊のみんなにも分かりやすくカブ隊みんなで読み聞かせしました。

大分第9団

平成31年4月27日～29日にかけて「陣屋の村」にてボーイスカウト大分県連盟70周年記念野営大会の事前訓練を実施しました。大分第9団は豊後富士隊に所属。チーム作りと基本訓練や薪による班炊事、営火などを盛り込んだ訓練で、日ごろの訓練の成果を發揮し、1日目、2日目の優秀班、事前訓練全体の最優秀班となりました。



大分第1団

新体制ビーバー隊初の活動はお花見ハイク ♪春をさがそう♪とっても気持ちのいいお天気でした。

上進後、ちょっぴり寂しかった隊も新しい仲間も加わりこれから楽しみです。



大分第2団

「日本一の心」変わるもの変わらないもの。移り行く時代の中で、大切な事って何だろう。この春「富士スカウト章」を取得したスカウトが「この章は、周りの人の支えがあってこそだと思う。感謝です」と話してくれた。スカウトから学ぶ事は多い。それ



ぞれの家族の他に「2団」というもう一つの家族の中で、新体制はより良く向上していこうとする心・感謝の心を再確認。令和のスタートラインに立ち、一歩ずつ前進していきたい。



大分第5団

今年で12回目となる玖珠童話祭に参加してきました。

今年のテーマは「ピーターパン」スカウト一人一人の手作り衣装で街並みをパレードしました。

パレード終了後は、恒例の全員でのミステリーツアーで楽しみました。



由布第2団

3月、おじかでBP祭団キャンプを行いました。



発団からの加藤団委員長が勇退され、スカウトの前で挨拶。団委員長、ありがとうございました。



別府第9団

別府9団では4月6日(土)、桜が満開の南立石公園にて、上進入隊式を行いました。



日暮れに優しく厳かな明かりが照らす中、ベンチャー隊2名、ボーイ隊2名、カブ隊3名、そしてビーバー隊では仮入隊を含め6名の新入隊を迎え、嬉しく弥栄を唱えました。

令和元年、別府9団の43期は元気にスタートしました。



杵築第1団

地図とコンパス…練習用の小さな地図を使って、座標線の記入練習。一度、大きな地図には記入済なので復習です。今日は、隊長からの挑戦状が…なにか6桁の数字が…数字の示す地点はどこか答えよ？ 指定された地点を数字に変換せよ？ 6桁の数字だけを頼りに、挑戦状の課題をクリア！ 雨模様で寒かったけれど、晴れやかな訓練でした。

